

# Bloomberg.co.jp

## スーパーファンド: 世界株システム運用を国内初募集ー1億ドル 目指す

---

7月28日(ブルームバーグ): オーストリアのスーパーファンドグループのスーパーファンド証券(東京都千代田区)は、日本で初めて世界の株式をシステム運用するヘッジファンドを募集する。28日から個人投資家向けに販売を開始、今後1年程度をかけ運用資産額で1億ドル(87億円)規模にしていきたい考えだ。

スーパーファンドは、世界で最低投資金額の低いシステム運用ファンドの開発、販売を手掛けてきた。今回のファンドの投資単位は100万円。1日平均売買高が500万ドル以上の世界の上場2500銘柄にテクニカル分析で選別投資。株式指数先物のショート(売り持ち)も活用する。個別銘柄の保有期間は平均4日間。

スーパーファンド証券のヨハン・ピーター・サンター社長(33)は新ファンドについて、「ボラティリティはCTA(商品先物ファンド)平均の20%と比べて低く、ダウンサイドリスクを抑えている」と強調した。「相場の下落局面ではよりパフォーマンスがよくなる傾向がある」という。

2010年6月までの試験運用の結果は、07年8月からのユーロ建てで年率収益11.52%、年率ボラティリティ8.16%。08年1月からのハイリスクで収益が金の価格に連動するクラスでは年率収益39.51%、年率ボラティリティ23.25%だった。

スーパーファンドは元警察官のクリスチャン・バハ氏(41)が1995年にウィーンで設立。14年前に運用を開始した旗艦ファンドは年率平均13.6%の運用収益をあげている。米国、欧州、香港などに拠点を構え、日本には05年に進出した。

記事についての記者への問い合わせ先: 東京 伊藤小巻 Komaki Ito kito@bloomberg.net 東京 山崎朝子 Tomoko Yamazaki tyamazaki@bloomberg.net

更新日時: 2010/07/28 10:55 JST